



2025 年 7 月 1 日

各 位

会 社 名 大王製紙株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 若林 頼房
(コード番号 3880 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画本部 広報・IR部長 北野 育
(TEL. 03-6856-7501)

(開示事項の経過) 当社子会社いわき大王製紙におけるボイラ復旧および再稼働について

当社連結子会社である、いわき大王製紙株式会社（住所：福島県いわき市南台、以下 いわき大王製紙）におきまして、2022 年 9 月 6 日に発生したボイラ損壊事故により全損したボイラの復旧工事が完了し、2025 年 7 月 1 日より再稼働したことをお知らせいたします。

地域の方々および関係者の皆様に多大なるご心配とご迷惑をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。

事故発生以降、外部の有識者を含めた「事故調査委員会」を通じて、本事故の発生原因の究明および再発防止策の策定に全力で取り組んでまいりました。復旧にあたっては、関係官庁に助言をいただきながら、事故調査委員会が取りまとめた報告書に基づく複数の推定原因に対する再発防止策を講じ再稼働に至っております。

なお、いわき大王製紙は古紙 100%を原料に新聞用紙や段ボール原紙を製造し、マテリアルリサイクルを通じた環境負荷低減に取り組んでおります。この度のボイラ再稼働により、工場で使用するエネルギーは 100%、木質チップや RPF、廃棄物などの非化石燃料となり、サーマルリサイクルにも取り組むサステナブルな製紙工場となります。さらに、自家発電比率は既存の発電設備（バイオマスボイラ 2 基、タービン 2 基）とあわせ 100%を超えることから、余剰電力をグループ会社のエリエールプロダクト福島工場（福島県いわき市南台）へ送電することで、年間約 29,000kl の化石エネルギーを削減します。

記

1. ボイラ再稼働の概要

- 1) 発電出力 : 33,333 キロワット
- 2) ボイラ型式 : 循環流動層式 (CFB^{※1}) ※1. Circulating Fluidized Bed
- 3) 燃料 : 木質チップ、RPF、タイヤチップ、構内廃棄物
- 4) 設備投資額 : 190 億円
- 5) 運転開始時期 : 2025 年 7 月 1 日

参考：[2023 年 8 月 10 日付け「当社子会社いわき大王製紙におけるボイラ再建について」](#)

以 上